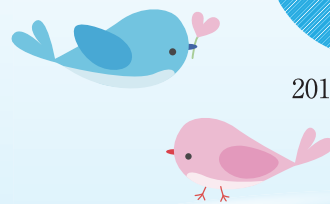


にじいろ



「にじいろ」は、愛知県三河青い鳥医療療育センターの広報誌です。

センターと地域をつなぐ架け橋となり、地域の皆様に役に立つ多様な情報をお届けしたいという思いを含め、『にじいろ』を発行します。



「にじいろ」創刊にあたって

厳しかった寒さもおさまり、春らしくなってきました。愛知県三河青い鳥医療療育センターはオープンしてからこの春で丁度1年になります。

新しい施設ということで、初めは職員が戸惑うこともありましたが、利用される皆様のご協力により円滑な施設運営ができました。新たに加わった重症心身障がい者病棟の入所もほぼ計画どおりに進み、短期入所や日中一時支援もスタートしています。

そしてこの度、センターと地域をつなぐ架け橋となり、地域の皆様に役立つ情報をお届けする広報誌「にじいろ」を発行することとなりました。センターの象徴ともいえるホスピタルアート「虹のトンネル」も意識したネーミングとなっています。

今回は創刊号ということで、センターの機能の紹介をメインにしました。次号からは家庭での療育に役立つ情報を掲載するなど内容を充実させ、地域の皆様とともに歩んでまいりたいと考えています。

編集委員一同



1階

私たちスタッフが寄り添います

外来は、障がいのあるお子さんと重症心身障がいのある成人の方を主な対象とし、医療を提供しています。

診療科は、整形外科、小児科、精神科、歯科、泌尿器科の5科に加えて、リハビリテーション科、内科、耳鼻いんこう科の3科を新設しました。

検査部門では、脳波やレントゲン撮影に加えて、センター内での血液検査やCT撮影等も対応可能となりました。薬局は、薬剤師が2名となり、よりスムーズな対応に努めています。

全科初診は、完全予約制ですので、詳細は『外来診療のご案内』のページをご覧ください。

新施設では、待合室はゆったりとくつろげる開放感のある広いスペースにし、飲食などでもできるラウンジを設けています。ラウンジは、宿題をするための勉強スペースとしても、有効に活用していただいています。また、小さなお子さんにも待ち時間を少しでも快適に過ごしていただけるようにキッズコーナーを設置しました。

常に患者様の気持ちに寄り添い、より良い医療サービスが提供できるよう、スタッフ一同努力していきます。

外来診療について、困ったことや分からないことがありましたら、お気軽にご相談ください。



外来



玄関



施設内学級

リハビリテーション

よりよい生活を目指して

リハビリテーション部門では、理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)、臨床心理士(CP)が、乳幼児期に障がいを受け、生活のしにくさを抱えている方々を対象にリハビリテーションを行っています。

理学療法では、上田法や一般的発達促進訓練を実施します。また、姿勢や呼吸に問題を抱えるお子さんに対しては、それらの機能改善を目指すのに加え、安楽に生活できるようなポジショニングやリラクゼーションの指導、および装具・補助具の提案なども行います。

作業療法では、遊びや日常生活動作、学習、コミュニケーションなどの生活行為がスムーズに行えることを目的としています。粗大運動や巧緻運動の発達、感覚の処理能力や認知機能の向上、日常生活動作の向上などを促すとともに、ご家族やご本人に関わる方々への支援、環境を工夫することへの支援に取り組みます。

言語療法では、お子さんのコミュニケーションや構音などの問題に対して検査や訓練を実施するとともに、ご家族からの相談への対応や指導、支援も行います。

心理療法では、発達障がいのあるお子さんやご家族を対象に、発達検査、知能検査、発達相談、学習支援、ソーシャルスキルトレーニング、カウンセリングなどを行います。

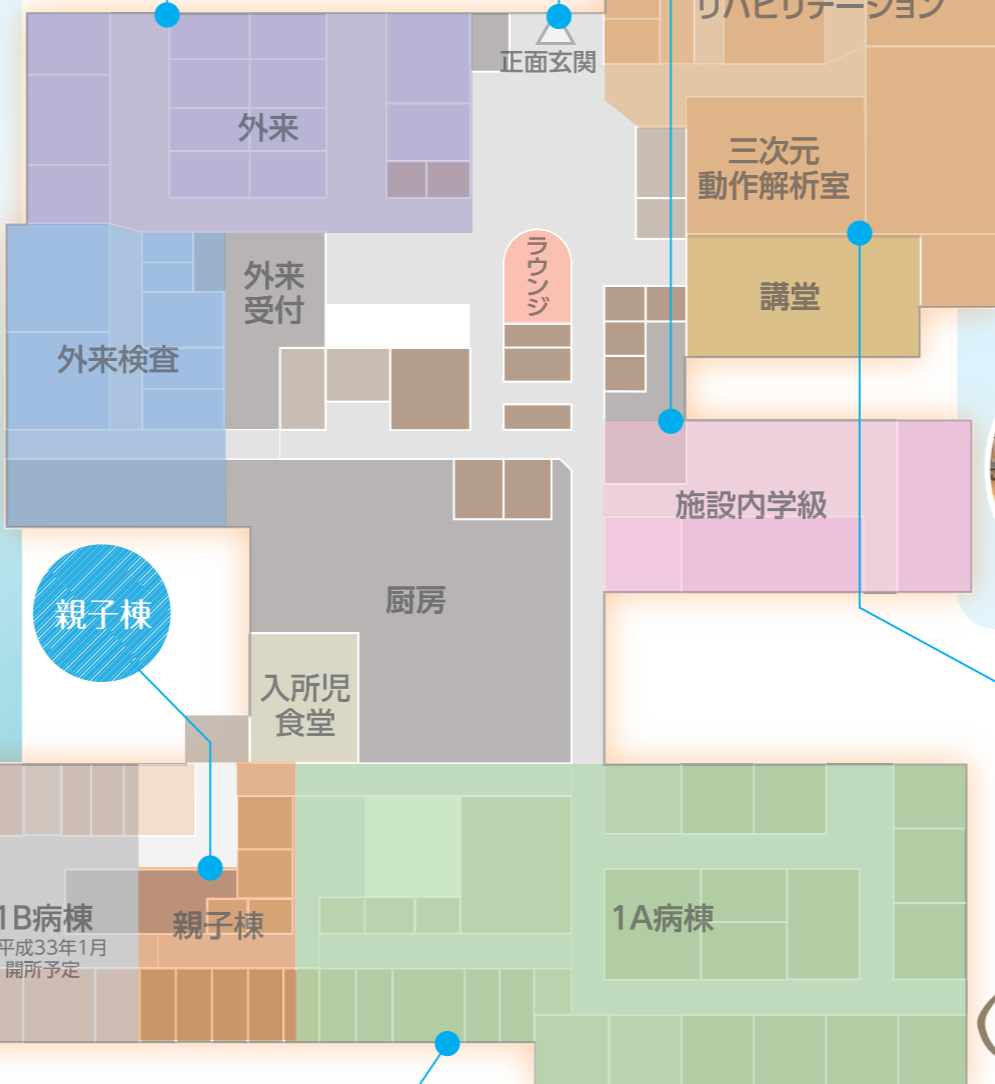
ご本人やご家族のご希望を伺いながら、よりよい生活を送ることができるよう、スタッフ全員で連携しながら支援を行ってまいります。何でも相談できるリハ部門を目指していますので、ご心配なことなどがありましたら、お気軽にスタッフにご相談ください。



運動療法室



作業療法室



親子棟

厨房

入所児食堂

1B病棟
※平成33年1月
開所予定

親子棟

1A病棟

三次元動作解析室



検査の様子

三次元動作解析室では、光学式3Dカメラ、ビデオカメラ、床反力計、表面筋電図計を使用して、現在の歩行能力の状態と手術などの治療効果を客観的に分析することができます。この検査では、光学式3Dカメラに反応する14mmの小さな反射マーカと、筋肉の活動を分析するための電極を皮膚に貼付します。

検査をご希望される場合は、医師の診察を受けてください。また、検査について知りたいことなどお気軽にご相談ください。

1A病棟

お子さんの力を引き出す

1A病棟は、下肢の疾患に伴う整形外科手術や機能訓練などの治療を目的とするお子さんと、家庭での養育環境が整わず施設で生活することを目的とするお子さんの入所施設です。18歳までのお子さんがそれぞれの目的に合わせて生活しています。日中は小・中学生は施設内のあおい学級、高校生はセンターからスクールバスに乗って岡崎特別支援学校に通学し、下校後はリハビリ、入浴(曜日指定)、宿題や余暇活動をして過ごしています。宿題で解らない時はスタッフがお子さんたちに解りやすいように教えたり、勉強しやすい環境づくりに心がけています。夕食後の余暇時間ではお子さん同士でお話したり、遊んだりして過ごしています。病棟内保育ではお子さんのやりたい遊びから少しずつ興味が広がるようにしています。

術後は身体が思うように動かないストレスがあるため、少しでも楽しく過ごせるような遊びを提供しています。また、家族と離れて暮らすことへの不安に寄り添うサポートをしています。日々の生活が少しでも豊かになるように、誕生会やクリスマス会等の季節行事や岡崎東公園や名古屋港水族館等への外出支援をしています。

医療、看護、リハビリ、保育、福祉等の専門職が情報共有し、チーム一丸となって、時には優しく、時には厳しく、お子さんの力を引き出していけるようサポートをしていきます。



居室



図書学習室



ラウンジ



キッズコーナー



2階

お気軽にご相談ください

療育支援課は、以下の相談に応じております。

①入所に関する相談

入所している方やご家族からのご相談、関係機関との連絡調整などをお受けします。

②短期入所、日中一時支援のご利用に関する相談

疾病・出産および休養等の理由により、障がい児(者)の介護ができなくなったときに、一時的にお預かりするサービスです。

登録、予約、利用に関わることをご相談をお受けいたします。

③相談支援事業(岡崎市のみ)

福祉サービスの紹介及び調整、サービス等利用計画・障がい児支援利用計画の作成等を行います。

④障がい児等療育支援事業(岡崎市、西尾市、幸田町)

障がいのある方、障がいが心配される方やそのご家族が地域で安心して暮らせるよう支援を行います。保育園、小学校等への訪問による支援者、ご家族への支援や当センターでの外来相談を行っています。



療育支援課

医療型児童発達支援センター

遊びの楽しさを知らせ、“できた”をふやす

医療型児童発達支援センターは、保育、リハビリ、医療を通してお子さんの発達を支援することを目的とした通所施設です。

おおむね1歳6ヵ月から就学前の未歩行のお子さんもしくは、呼吸器、経管栄養などの医療的ケアが必要な歩行可能なお子さんが保護者の方と一緒に通い、お子さんの発達に合わせた活動(音楽遊びやゆさぶり遊び、季節の製作活動など)をして1日を過ごしています。

新施設では、埋め込み式のボールプールやスイングを設置し、これまで以上に身体をいっぱい使って遊ぶことができるようになりました。ボールプールや、スイングを使って遊ぶことで、大きな声が出たり、手を伸ばしてみたり、ちょっと怖そうなお母さんを見たり、様々な反応が見られます。何度も経験することで、「楽しい!もっとやりたい!」という気持ちを引き出しています。

また、トイレも明るく、広く使うことができるようになり、お友だちがトイレに行く様子を見て、積極的にトイレトレーニングに挑戦しようとするお子さんの姿が見られるようになりました。

通所施設として、保護者同士の交流の時間も大切にしています。給食後の母子分離の時間には、保護者控室を使って、お母さんも休憩を取ります。その際には、お子さんと離れ、ほっと一息をつき、お母さん方がお子さんのことについて情報交換をしながら交流を深めています。

今後もお子さんの発達を支援していくとともに、安心してお母さん方が子育てをできるようサポートしていきます。



スイング



トイレ



ボールプール

こころが喜ぶ生活を

2A病棟は、4月に新しく重症心身障がい者の病棟としてオープンしました。入所は4月中旬から数人ずつ始まり、平成29年2月現在で32名の方に入所していただいています。

2A病棟では、利用者様とご家族の思いを大切に、コミュニケーションをとりながら安心して豊かな生活が送れるよう取り組んでいます。

日常の療育活動では、居室とは違う外の空気の心地よさを感じられるよう、テラスに出て日光浴やシャボン玉、カフェなどを行っています。

また、季節の変わり目を感じていただけるよう、1月の活動では、利用者様とご家族と一緒に絵馬を作成しました。「たのしく、げんきにすごせますように」「おいしいものがたべたいな」など思いの願いを書きいただきました。こうした活動を通して、大きな声で笑ったり、はにかむような表情をしたり、いつもとは違った様々な反応が見られることで、利用者様が喜んでいる様子を感じることができています。

今後もスタッフ一同、更に充実した療育を目指し、努力していきたいと思っております。



2A病棟

2A病棟

2B病棟

※平成29年10月
開所予定

2B病棟 開所準備中

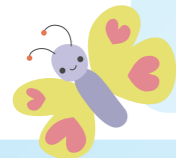
おしらせ

2B病棟は、2A病棟と同じく重症心身障がい者の方が入所する病棟です(32名入所予定)。

2A病棟がオープンする際、三河地域にお住いの重症心身障がい者のご家族から、1つの病棟では十分に対応できない数の入所のご希望がありましたので、当初予定を15ヵ月早め平成29年10月のオープンに向けて準備中です。

なお、4月より入所募集を始めますので、詳細は当センターのホームページをご参照ください。

お問い合わせは、療育支援課の入所相談担当者までご連絡ください。



テラスで日光浴



テイルーム



居室



願いを込めた絵馬



外来診療のご案内

当センターは障がい児(者)の方に特化した建物です。
車椅子やストレッチャーで来られた方が安心して受診できるようになっていますので、お気楽にいらしてください。

平成29年2月現在

診療科目	曜日 担当医	月		火		水		木		金	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
整形外科	則竹	予約	一般	予約(処置等)		手術		予約	一般	予約(処置等)	
	神谷										
	吉橋								予約	予約	
小児科	越知	一般	予約	予約	予約	予約	予約	予約	一般	予約	
	中森		予約								予約
	福本										予約
	伊藤			予約							
	奥村										予約(月1回)
精神科	水野	予約	予約	予約	予約	予約	予約	予約		予約	予約
泌尿器科	飯尾								予約		
内科	羽田野				予約						
耳鼻いんこう科	横井										予約(第2・4金曜日)
歯科	大岩	予約	予約	予約	予約	予約	予約	予約	予約	予約	

※各科初診は完全予約制です。

※都合により、臨時休診となる場合もありますので、ご了承ください。

休診日:土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始(12月29日から翌年1月3日)

診察受付時間:午前8時30分～11時30分、午後1時～4時

診察時間:午前9時～、午後1時30分～

診察予約に関するお知らせ

診察予約は電話での受付となります。 **外来直通 ☎0564-64-7982**

■受付曜日/火・水・金 ■受付時間/午前11:00から午後3:00迄 ※緊急を要する場合はご相談ください。

送迎のご案内

リフト付き車輛で、車椅子は2台まで対応できます。
定員は運転手含め10名です。

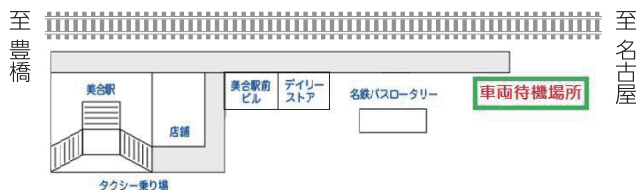
送迎区間:(片道所要時間約20分)

三河青い鳥医療療育センター ↔ 美合駅

美合駅 車輛待機場所:

名鉄バスロータリー敷地内の駐車場です。

※渋滞等道路状況によりお待ちいただく事があります。



	三河青い鳥発	美合駅着	美合駅発	三河青い鳥着
1便	8:40	9:00	9:10	9:30
2便	9:35	9:55	10:05	10:25
3便	11:30	11:50	12:00	12:20
4便	12:30	12:50	13:00	13:20
5便	13:30	13:50	14:00	14:20
6便	14:30	14:50	15:00	15:20
7便	15:30	15:50	16:00	16:20
8便	17:00	17:20	17:20	17:40
9便	17:40	18:00	18:00	18:20

アクセス



自動車 東名高速道路 岡崎I.C. ▶ 「豊橋方面」へ国道1号線 信号「大平町新寺」左折 信号「岡崎市民病院東」直進

電車・バス 名古屋鉄道 東岡崎駅 ▶ 名鉄バス 「中央総合公園」下車 徒歩10分

※JR 岡崎駅をご利用の方は バスで名鉄「東岡崎駅」までお越しください。

愛知県三河青い鳥 医療療育センター



社会福祉法人 財団 済生会

愛知県三河青い鳥医療療育センター

〒444-0002 愛知県岡崎市高隆寺町小屋場9番地3
TEL 0564-64-7980(代表) FAX 0564-64-7981
http://www.mikawa-aoitori.jp/